

【引用文献】

- アーバンクボタNo.14：久保田鐵工株式会社、1977
- 有光一登：森をささえる土壌の世界、林業改良普及書152、2006
- 第四紀・テフロクロノジー特集号：第四紀学会、1963
- 技術情報No.112：長野県林業総合センター、2003
- 石塚和裕：土壌の緩衝能の実態と評価、森林立地、34、(1)、1992
- 研修材料、育種・育苗・森林土壌：財団法人林野共済会、平成15年
- 松澤義明：ツチクラゲの写真、社団法人長野県林業コンサルタント協会
- 日本の森林土壌：社団法人日本林業技術協会、昭和58年
- 長野営林局管内の森林土壌：長野営林局計画課、養成研修普通科教材の補助教材、昭和40年
- 長野県の国土調査：平成16年度、長野県農政部農村整備課、平成16年
- 野呂忠幸・佐々木朋明：主な落葉広葉樹樹幹流の酸性度比較、日本東北誌44、1992
- 大政正隆：林野土壌調査報告第1号：林業試験場、昭和26年
- 林野土壌の分類：林業試験場（土じょう部）研究報告第280号、1975
- 林地土壌生産力調査資料：林業試験場東北支場、昭和38～42年
- 仙石鐵也：育林部業務資料、37年度土壌調査部研修製の報告、林業試験場東北支場、昭和39年
- 仙石鐵也研究業績集：農林水産省林野庁森林総合研究所退官記念、1996
- 堤 隆男：酸性雨と森林1、林経協月報No.341、1990
- 山谷孝一：森林土壌におよぼす影響（講義資料）、昭和50年
- 山谷孝一・仙石鐵也：丘陵地および上部山地の森林下における落葉分解過程、
日本林学会誌58（12）、1976
- 山谷孝一・仙石鐵也：北上山地準平原土壌に関する研究（1）平庭土壌について、
日本林学会誌46（12）、1964

おわりに

土壌調査と出会って40年を越えました。今も現役の調査員として使って頂いています。

土壌の生成因子は、気候、生物、地形、母材、時間の5因子が相互にいろいろな強さで働き生成されるといわれています。調査員は気象、植物、地形、地質の知識はぜひとも必要です。人生は勉強の連続、試練の連続です。

自然とふれあい、遊び、学び、そして良い友達を得ることが大切な事ではないかと思います。



(写真提供：長野県林業総合センター 片倉正行)